

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP2, F-STEP2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・自分が住みたいまちを象徴する建造物（シンボル）を想像し、粘土でつくことを通して形や色などの感じなどがわかったり、表し方を工夫して、創造的に表したりする。
- ・想像したことから表したいことを見つけ、どのように表すかについて考える。
- ・進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・身近にある作品から自分の見方や感じ方を広げる。

単元における学習の展開（全8時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	・世界中にはいろいろな街並み・建物があることを知る ・どんなまちに住みたいかを考え、そのまちを象徴する建造物（シンボル）を想像する
第2次 (2時間)	・学校図書等を使って世界にある建造物を調べ、情報カードに書き入れる（☆） ・調べた建造物をもとに、まちのシンボルを考え、完成予想図を描く（☆）
第3次 (4時間)	・情報カード、完成予想図を参考に、まちの地図やシンボルを完成させる（☆）（本時） ・完成したシンボルについて、説明と感想を書く
第4次 (1時間)	・鑑賞（友だちのシンボルについて感想を伝えあう） ・友だちのまちとつなげて感想を伝えあう

本時のねらい

- ・自分の想像したまちのシンボルを表現するために情報カードや学校図書を活用する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 情報カードを確認し、自分の想像した建造物がどのようなものだったのかを思い出す。	・自分が想像した建造物のよいところやおもしろいところを思い出させ、どう表現していけばよいか考えさせる。
展開 (35分)	想像したまちのシンボルを紙粘土でつくろう 2. 情報カードをもとに、自分の想像したまちのシンボルを紙粘土で作成する。 ・紙粘土で建造物をつくる。 ・建造物の形や模様によって道具を使い工夫をする。 3. 友だちのつくっている建造物の工夫を見つける。 ・班で製作途中の作品を見せ合い、お互いの工夫を見つめる。 ・見つけた友だちの工夫を全体発表する。 4. 友だちの工夫をもとに、自分の建造物を見直す。	・竹串、へらなど、道具を使うよさを伝える。 ・建造物は調べた学校図書やインターネットで再度確認してもよいことを伝える。 ・情報カードをもとに、自分の想像した建造物を表現する。 想像した建造物について、情報カードや学校図書を確認しながら活動を行うようにする。
まとめ (5分)	5. 授業をふりかえる。 ・これからの作業や頑張っていくことを考える。	・次回の作業で必要なことを考えて確認する。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・たくさんの建造物が載っている図書を用意し、子どもたちが初めて触れる建造物を数多く用意したことで、自身の表現したいことの幅を広げて想像していくことができた。
- ・子どもたちは、調べたことをタブレット端末に取り込み情報カードとすることで、情報の見直しや確認を簡単に行うことができ、創作活動中にも、子どもたち自身で手直しや見直しを持つことができた。
- ・子どもたちはタブレット端末に情報を集めることで、お互いに見ることができ、自身で見つけることができなかった情報や調べることができなかった情報を補うことができる。



情報カードや学校図書を確認しながらシンボルを紙粘土で作りました。